

私の半生と労働運動 ～一人ひとりが行動すること～



全日本自治団体労働組合（自治労）
中央執行委員長 川本淳



人口:1,763人(2015年国勢調査)

← 3,559人(1980年国勢調査)

面積:594km²(香川県=1,862km²の約1/3)

← 面積の85%=509,6km²が森林です



<主要産業>

①林業・木材産業を基幹産業として発展

②酪農や畑作も

<著名人>

ラッシャー木村(プロレスラー)



育った環境⇒家は農業



- 市街地から4 km離れた集落 = 国鉄（現JR）の無人駅の前
- 隣家までは300mくらい（周辺は畑と山と川）
- 保育所時代から車で通う（SLやディーゼルカー）※電車ではありません

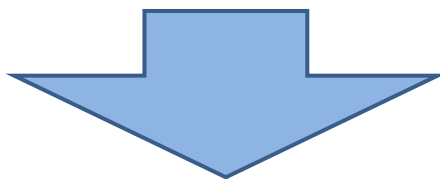
保育所・幼稚園・小・中・高と汽車通学で国鉄(現JR)ストライキを体験

- 例年4月上旬、ストライキで汽車が止まる？
- 学校も自習？



国鉄で働く人が常に身近な環境

- ◆ 汽車への乗り降りは車掌と運転士
- ◆ 駅では改札係の駅員
- ◆ 家では線路補修・点検の保線の係員



国鉄に就職しよう！

が、親の勧めで

何となく地元の役場へ

← 役場の仕事は何か分からないまま



(いずれは国鉄に転職を考えていた……)

組合との出会い(1981年に就職し組合加入)

就職初日に組合からの勧誘(新規採用者オルグ)

※オルグ＝団体が、組織拡大のため、人を勧誘して構成員にしようとする
こと

⇒ 何の抵抗もなく加入

⇒ 初日の勤務終了後は、国鉄の組合事務所に呼ばれ、「労働組合とは何か」の講義を受ける

★私の出身組合は、中川町職員労働組合。

→ 「自治労」は、このような市町村単位や都道府県単位の組合が「自治労」に加入する形態になっています。

★私が入った時、中川町職労は、自治労に加盟して10年でした(組合が出来てから11年)。

組合の活動(青春篇)Part I

- ① 新入組合員歓迎会を始めとしたレクリエーション
- ② 自治労の月1回の学習会(勤務終了後)

主に、給料(賃金制度)や
働く条件(労働条件)の学習と飲み会

- ③ 地区労の月1回の学習会＝国鉄・郵便局・営林署・教員・北海道庁
・さけますふ化場 等で働く人たちとの学習会と飲み会

職場でおかしいと思ったこと・不安・悩み
を出し合う

➤ 先輩に連れられ、まあまあ参加しました



組合の活動(青春篇)Part II

夏の時期(6~8月期集中)

地区労学習会の大きなエリアでの1泊キャンプ版

= 「名寄センター平和友好祭」

(中川町、音威子府村、美深町、名寄市、風連町、下川町、士別市、剣淵町、朝日町、和寒町)→10市町村の面積は、福井県の4,190km²と同じくらい

- ① テントの設営
- ② カレーライスづくりなどの自炊
- ③ 2日目はスポーツ交流

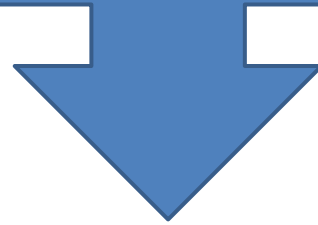
⇒ 「キャンプに行くぞ」と騙されて連れられて行った感強し

➤ これが「自治労バージョン」「地区労バージョン」ともに、「名寄センター」「道北」「全道」「全国」レベルでありました。



組合の活動(青春篇)PartⅢ

自治労に加入している周辺市町村での学習会に初参加
「休暇は取りましたか？」
「病気休暇は取れますか？」
「超勤はキチンと手当が出ていますか？」
etc.....



「親が死んでないから休暇は取ってません」
「それ以外で風邪を引いた時に取りました」
と言うと
衝撃の事実が.....
→ 「井の中の蛙大海を知らず」を体感



組合の活動(青雲篇)Part I その1

国鉄分割民営化反対のたたかい

1981年(役場に入った年)12月頃～

「ヤミ・カラ・ポカ」の報道＝ 国鉄で働く人のバッシングが多発・連続

1982年7月 「国鉄は5年以内に分割民営化すべし」とした「第二臨時行政調査会(第二臨調)」の基本答申

1986年10月 人材活用センターが全国で138か所17,720人で発足

1986年11月 希望退職18,716人

国鉄改革法成立

1987年2月16日 新会社への採用通知(7,628人不採用)

1987年4月 JR発足(不採用者は国鉄清算事業団へ)

追加採用・広域採用を経て

1990年4月1日 清算事業団解散＝1,047人解雇

※ちなみにNTTとJTは1985年4月発足

➤1981年～1990年で、働く人が簡単に首を切られていくことの怖さを体感。公務でもあっさりと……

➤この一連の闘いの中では、「1986年衆参ダブル選挙～自民党圧勝」＝政治の影響も強く見せつけられた

組合の活動(青雲篇)Part I その2

マチの足を守る

★線路を廃止させない

「乗って残そう宗谷線」 → 行政

★国鉄が廃止になると、働くものが減少、商店が減少、学校も減少
→ 町の衰退が加速

★組合として廃止反対署名を実施

→ 連日、様々な場所で反対行動をしました

⇒ 1990年以降は、地域の建設業等と、解雇された人たちの雇用などでつながる



組合の活動(青雲篇)Part II その1

幌延高レベル放射性廃棄物処理施設誘致反対のたたかい

- 1981年 北隣のマチ＝幌延町が過疎化対策で原子力関連施設誘致表明
- 1982年 動燃「低レベル放射性廃棄物処理施設計画」
- 1983年 横路北海道知事誕生
- 1984年 動燃、高レベル放射性廃棄物貯蔵研究施設「貯蔵工学センター」計画発表
幌延町、高レベル放射性廃棄物処理施設誘致表明
幌延町議会、誘致決議(7月16日)
中川町、反対決議(9月21日)
横路北海道知事、反対表明

- 過疎化が地方の大きな悩みの中、1974年電源三法が成立（なんと原発をつくるごとに交付金が出る） ⇒地方に多くの原子力発電所が……
- 福島第一原発事故を受けてクローズアップされている最終処分場問題は古くからの課題（「トイレなきマンション」の言葉は、この時期から使われていました）

組合の活動(青雲篇)Part II その2

- ★当時、酪農が盛んだった中、「風評被害」が地域に影響
＝基幹産業がダメになる
- ⇒ 地域の労働組合と農民で反対する町民の会を結成

- ★組合としては、
最終処分場をつくらせないことが原発を止めることにつながると反対運動
- ⇒ 当該地から道北、そして全道への広がり。
- 反対署名は町内有権者の79.7%を集めました。
- ⇒ 町議会も反対決議



組合の活動(青雲篇)Part II その3

政治の役割も重要

1983年 横路北海道知事が反対表明



1995年 3期12年間
堀北海道知事の誕生



1998年 2期8年間
科学技術庁が、計画の取りやめと深地層研究の申し入れへ
2000年 幌延町「町内に放射性廃棄物の持ち込みを認めない」とした条例制定
北海道・幌延町・核燃機構が研究に関わる三者協議締結



組合の活動(青雲篇)

まとめ(2つの大きな長い活動から)

1. 地方が簡単に切り捨てられる = アメとムチ
2. 働くものもあっさりと首を切られる
3. 住民と一緒に取り組むことの重要性
4. 社会的に広めることの大切さ
5. あきらめることなく取り組み続けることの重要性



⇒ そしていずれも政治が大切だということ



労働組合の意義(自治労の場合)

1. 組合員の生活を改善すること

(1) 給料(賃金)の改善

- ① 公務員全てが一律ではありません。
- ② 地方公務員も自治体によって少しずつ違います。
- ③ 退職金もちよっぴり違います。

(2) 働く環境(労働条件)の改善

- ① 働く時間(出退勤、昼休み、残業 etc)
- ② 各種休暇の取得
- ③ 人を増やす
- ④ 照明、空調
- ⑤ 共済組合(福利厚生)
- ⑥ 労働災害・公務員災害補償



労働組合の意義(自治労の場合)

2. 自治体や公共サービスを守ること

- ①自治体の事業のアウトソーシングへの対応
- ②税財政の改革
- ③地方分権＝地方がそれぞれに合った柔軟な取り組みができること
- ④東日本大震災からの復興
＝公共サービスの大切さが改めて明らかになりました
「2016熊本地震」でも



岩手県・宮古市で「思い出の品(位牌・アルバム・写真等)」の整理にあたる組合員



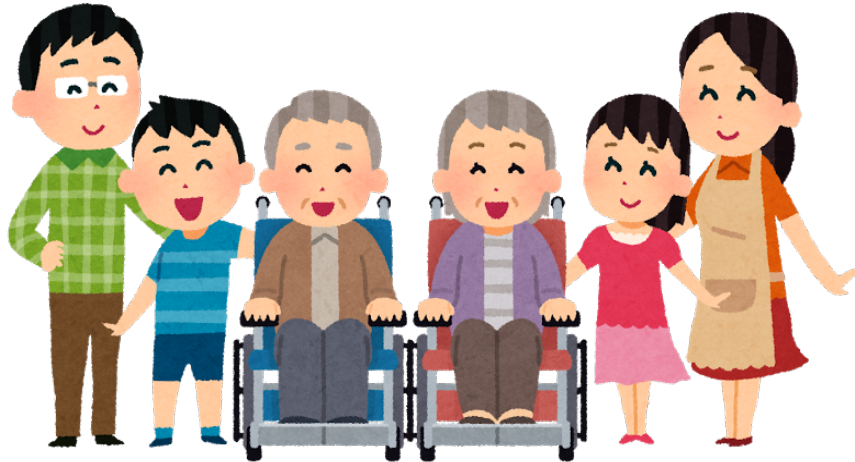
宮城県・南三陸町でご遺体を運搬する消防職員の仲間

労働組合の意義(自治労の場合)

3. 労働組合としての政策の実現

- ① 社会保障制度の改革
- ② 診療報酬や介護報酬の改訂
- ③ 介護保険制度の改革
- ④ 社会的セイフティーネットの確立

⇒ などなど、住民が生活していくために必要なもの



労働組合の意義(自治労の場合)

4. 地域や社会に関わる取り組み

① 地方自治研究活動

労働組合・働く者の視点で公共サービスの改善を自治体当局へ提言

② 町内会・レクリエーションへの参加(地域に理解を得る)

③ 労働組合としての地域への還元の取り組み

④ (冒頭に示した)社会的な活動や平和・人権・環境など



終わりに

○この社会を、少しでも自分たちが思う／考える姿に変えていくためには、

発信力がある人が発信するだけでなく多くの人「こう考えている」と伝えることが重要です。

その一つが労働組合ではないか？

そして、そこで、一人ひとりが行動するということが大切です。

組織・団体ですから。

○「何も変わらない」ではなく、変えていこうと思う気持ちと行動が、少しの変化を始めるものです。



ご清聴ありがとうございました。<m () m>